

## 平成28年4月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成28年4月28日(木) 開 会 午前 13時30分  
閉 会 午前 15時00分

2. 会 場 茅野市役所 704会議室

|         |          |       |        |       |
|---------|----------|-------|--------|-------|
| 3. 出席委員 | 教育委員長    | 吉田 一  | 同職務代理者 | 小林 智  |
|         | 教育委員     | 小林 俊恵 | 教育委員   | 小平 光子 |
|         | 教育長      | 牛山 英彦 |        |       |
| 出席者     | 生涯学習部長   | 木川 亮一 | こども部長  | 牛山 洋治 |
|         | 学校教育課長   | 平出 信次 | 文化財課長  | 守矢 昌文 |
|         | スポーツ健康課長 | 鋤柄 敏  | 公民館長   | 矢島喜久雄 |
|         | 幼児教育課長   | 牛山津人志 | こども課長  | 両角 勝元 |
|         | 生涯学習課長   | 小島 吉彦 |        |       |
|         | 教育総務係長   | 渡辺 雄一 | 生涯学習係長 | 上原 平二 |
|         | こども係長    | 今井 明彦 |        |       |
|         | 教育総務主事   | 丸茂 直樹 |        |       |

4. 傍聴者 3名

## 4月定例教育委員会次第

日 時 平成28年4月28日（木）午後1時30分から

場 所 市役所 704会議室

### 1 開 会

### 2 前回会議録の承認

### 3 報告事項

第1号 教育委員長報告

第2号 教育長報告

第3号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第4号 教育委員会後援共催

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

### 4 議 案

（1）茅野市社会教育委員会等の委員委嘱について

（2）県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について

### 5 検討事項 今回はありません。

### 6 その他

（1）市議会3月定例会議決結果について

（2）教育委員会各部の経営方針と目標（平成28年度）について

（3）平成27年度相談状況について

（4）セカンドブックの手渡しについて

（5）公民館職員の勤務時間変更について（報告）

（6）平成28年度主幹指導主事学校訪問日程について

（7）縄文科の状況について

（8）学童クラブの状況について

（9）台湾音楽交流会について

次回定例教育委員会日程について

5月26日（木） 午後1時30分 「704会議室」

（事務局会議 5月10日（火） 午後1時30分 「602会議室」）

吉田委員長

只今から、4月定例教育委員会を開催します。

まず、前月の3月の会議録の確認をします。何かありますか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

本件は承認されました。なお、会議録の署名は委員会終了後にお願いします。

それでは報告事項第1号、教育委員長報告についてお願いします。

入学式、入園式については、年々良くなっているのではないかと感じました。しかし親御さんの中にはこれでいいのかなと思うような方もいらっしゃいました。

13日には諏訪東京理科大公立化有識者会議に出席しました。前回の会議後に寄せられた質問、意見等を事務局にて整理していただき、回答についてもいただきました。それを基に公立化を進めるという方向で協議会へ話を進めていくということになりました。意見のなかには、学部をどうするかというような、公立化が決まったところで考えていくべきであろう質問などがございました。設置されている地元、茅野市が中心にならなければなかなか進まないと感じました。

21日には幼保小連携スタートカリキュラム公開授業が北山小学校で行われました。昨年以上にスムーズな接続が行われていると感じました。北山のこどもたちがこんなにも活発だったのか、私達のこどもの頃と比べはるかに積極的にものを言う姿がありました。26日には市町村教委連絡会、長野県主要事業説明会が行われました。事務局、教育委員で参加してきました。説明側の事務局がインフルエンザにて欠席者多数という状況でした。説明についてはいくつか省かれているところがあるようにも感じましたのでそれぞれ資料を参考に考えていかなければいけないかと思いました。

次に報告事項第2号、教育長報告についてお願いいたします。

教育長

6日に茅野高校の入学式に出席させていただきました。その中で生徒たちの式に向かう姿勢がとても良いものでした。特に、新入生、北部中学校の卒業生である生徒が宣誓を行いました。「私達は茅野高校へ学ぶために来ている」というような内容でした。私は「中学校の教育がここにも活かされている」と感じました。

8日に市内小中学校校長会を行いました。本年度初めての校長会ということで、茅野市の教育はどこに原点を置いているか。具体的にはこども達を大切にすること、茅野市の教育を成立させている基盤は読書ということ、なぜ読書を基盤にしているかを校長先生にお知らせさせていただきました。特にどうしても教育というと、教科、知的なものが

優先されているというような考え方が非常に強いですが、今日の教育においては、知的学習をより良くするためには、それを支える教育活動が必要だということです。その支える教育では、茅野市では、小中一貫教育などをやっていますが、小中一貫をどういう考え方で小学校6年間、中学校3年間の9年間を見通して教育活動を行うか、また小中の学校の先生が一貫した考え方を持っていかなければならない、なぜ茅野市では縄文科学習をやるのか、台湾との交流事業をやるのか、それを本来のやること以外の余分なことというような考え方の先生もいます。しかし本来の知的学習を良くするためには、台湾交流、縄文科学習をやらなければいけないというようなことをお話させていただきました。私からは以上になります。

吉田委員長

次に報告3号各課から報告をお願いします。

[各課から3月行事予定について報告]

資料（報告3号）

吉田委員長

次に報告事項第4号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課、スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告4号）

吉田委員長

次に議案1「茅野市社会教育委員等の委員委嘱について」生涯学習課長からお願いいたします。

生涯学習課長

[概要]

茅野市社会教育委員、図書館協議会委員、公民館運営審議会委員の新規委員について説明

資料説明（議案1号）

文化財課長

博物館協議会委員の新規委員について説明

現在、諏訪東京理科大へ依頼し選任中

資料説明（議案1号）

吉田委員長

ご質問等ございますか。

ないようですので承認とさせていただきます。

次に議案第2号「県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について」について教育長からお願いします。

教育長

〔概要〕

県教委との連絡調整について説明。内容としては市教委の教員配置、昨年度と変更なし、ということになります。

資料説明（議案2号）

吉田委員長

何か質問等ございませんか。

県教委と連絡調整してもなかなか茅野市教育委員会からの願いが実現するということはありませんが、流れとしては資料の通りになります。

議案については以上で終了となります。

次にその他1「市議会3月定例会議決結果について」ということでこども部長から説明をお願いいたします。

こども部長

こども部からは議案16号茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び茅野市学童クラブ条例の一部を改正する条例についてということで、条例改正をしました。学童クラブを小学校3年生までというものを小学生までに変更させていただきました。議決は可決にはなりましたが、質疑の際に議員の方から多くの質問がありました。6年生までになった経緯について説明していただきたい、条例を作って1年後に改正ということで唐突感が否めない、子育て支援を充実するための条例改正という理由では敬遠して欲しかった、地区こども館の時間延長なども議論の中で進めてきたが、トップダウンで決めたものでしたので、パートナーシップを丁寧にしていないのではないか、こども館の利用者の声を聞くことなく決めたので、パートナーシップの手法からしておかしい、など4人の議員の方からの質問がありました。このような議論になることは想定しておりましたので、丁寧な回答はさせていただきました。今後利用料の部分については考えていかなければいけないかと思いますが、このような議論があったことをご承知ください

吉田委員長

承知しました。

次にその他２「教育委員会各部の経営方針と目標（平成２８年度）について」両部長から説明をお願いします。

こども部長

〔概要〕

毎年、市議会、職員を含めて資料のように作って説明させていただいています。昨年度と違う箇所は、経営方針については、教育大綱ができましたので、どんぐりプランなどは教育大綱に沿って推進していきます。また総合戦略に基づき「郷土愛を育む取組の推進」という部分も加えさせていただいております。重点的な施策については、昨年度と内容的には同じです。２ページ以降には再施策と主要事務事業について、学校教育課、幼児教育課、こども課で取り組む主要事務事業となっております。黒字の部分については、総合戦略にも書かれている主要事業となっております。

各課の細施策、主要事務事業について説明。

資料説明（その他２）

生涯学習部長

〔概要〕

経営方針、今年１年職員の目標とする方針ですが、主にひとづくり、ひと育ちが求められている中で、教育大綱で定めた基本方針に沿って４つの取組を行っていきます。重点取組については、８つ、事業的には１１事業を主に取り組みます。

各課の細施策、主要事務事業について説明

資料説明（その他２）

吉田委員長

何か質問等ございませんか。

次にその他３「平成２７年度相談状況について」こども課長から説明をお願いします。

こども課長

〔概要〕

家庭児童相談室、教育委員会、こども館発達支援センター、CHUKOらんどチノチノで相談を受けた件数について説明させていただきます。

資料説明（その他３）

吉田委員長

相談を受けて解決するものは、何パーセントぐらいなのでしょう。

こども課長

カウントの仕方が難しいのでパーセントではお伝えすることが難しいですが、要保護児童対策地域協議会の実務者会議で進行管理しているケースでは、年間で約100件になります。ただ、解決しても同じ家庭で再発するという状況もあります。

こども部長

25年度から相談件数が増えていますが、それについては要保護児童対策地域協議会を別に作り、今まではこども家庭支援会議と要対協を兼ねるような形をしていました。要対協単独を別個にしようという事で25年度に作ったので、それだけ扱う件数が増えたという事と、要体協の実務者会議でケースの進行管理を毎回そこで行う形になりましたので、漏れることなく、関わる体制が整ったことから件数が増えたかと思います。

吉田委員長

課題については、件数は増えているが、実質の数が増えているということではなく、体制が整った結果、相談件数が増えたということですね。

虐待に関してはすぐに解決できるものではないと思いますので、法的な面からケアをしていただけるようお願いします。

他に質問等ございませんか。

次にその他4「セカンドブックの手渡しについて」生涯学習課長からお願いします。

生涯学習課長

〔概要〕

小学校1年生に毎年セカンドブックをお配りしています。その日程になります。  
各委員さんには、どの日にちでも構いませんので1回参加していただければと思います。

日程について説明

資料説明（その他4）

吉田委員長

承知しました。

質問等ございませんか。

次にその他5「公民館職員の勤務時間変更について」公民館長からお願いします。

公民館長

公民館の職員の勤務時間を昨年度は「９時」からだったところを今年からは「８時３０分」から勤務とさせていただきます。以前までは、９時勤務開始、９時開館となっていたため、準備をすることが全くできない、利用者の方を待たせてしまう状況でした。「８時３０分」から勤務開始し、準備打ち合わせをして利用者を迎えるという形になります。

吉田委員長

終業時間については３０分前倒しですか。

公民館長

３０分前倒しになりますが、委託の業者の方が来るのが５時３０分からということですので、当番の職員は５時３０分まで残り、１５分についてはお昼休み等で調整させていただきます。

吉田委員長

この変更が市民にとってより良いものになってくれるよう、お願いします。  
次にその他６「平成２８年度主幹指導主事学校訪問日程について」学校教育課長から説明をお願いいたします。

学校教育課長

主幹指導主事の方の学校訪問があるということで、教育委員の方には参加する日程について決めていただきたいと思います。

吉田委員長

A訪問、B訪問のようにはどのようなになっていますか。

学校教育課長

今年度も、複数校訪問の日程、１校訪問の日程両方があります。

吉田委員長

承知しました。

次にその他「縄文科の状況について」学校教育課長から説明をお願いします。

学校教育課長

昨年のこども達の学びについて説明したいと思います。４月１４日に第１回の縄文科委員会が開かれました。そこで教育長から縄文科学習をなぜやるのか、どんなものなのかを



説明していただきました。教材についての課題などもありましたが、26年度、27年度は縄文科についてなぜやっているのかを理解している先生も増えてきていると感じました。ただ中学生について、縄文科のコアとなる教材づくりが甘いというような意見もあり、縄文科もどきの教材もあるということでした。先生たちはしっかりした教材の素材を見つけて子ども達に伝えていってもらいたいです。また地域学習も含めていますので、今現在、台湾などの茅野市以外とも交流していますので、自分たちの地域について説明できるよう、先生方には縄文科学習を進めていただきたいと思います。教育委員の方から昨年の縄文教育について何か意見などがあれば、お願いいたします。

#### 小林（智）委員

中学校に関しては、今度縄文科学習を行った小学生が中学生になりますので、今までの中学校での縄文科学習では物足りない部分がありますので、今までよりステップアップした縄文科学習を行ってもらいたいと思います。小学校の方は低学年から高学年まで先生方が工夫してやってくださっているなという印象でした。

#### 小林（俊）委員

縄文科学習は、郷土、地域に繋がる学習という話が先ほどありましたが、私も本当にその通りだと思います。自分たちの学校の周りの史跡のようなものを調べたりとか、そういうことをやることによって地元の人も知らない事を教えてもらうようなこともありました。縄文科の勉強の成果が表れていてすごいなと思いました。中学校に関してはそれを応用するようなことでないと、小学校から中学校に上がった子ども達には少し物足りないかなと思います。

#### 小平委員

私は、昨年度は縄文かるたを見させていただきました。その中で、かるたの「あ」の内容を考えると、低学年の子にも分かるように伝えるにはどのように表現すればいいのかを全校規模になり、横のつながりだけでなく、縦につながったり、また美術の力などについても絵を描くことによって養われていることを感じました。

#### 吉田教育長

縄文プロジェクトの関係で、ガイドブック分科会で副読本は必要なのかというような議論がありました。副読本を作ったら独自の活動を阻害してしまうのではないのか、しかしないとやりづらい部分もあるのではないのか、というような意見がありました。小学校では先生方が非常にさまざまな工夫をしてくださっています。中学校になった時にどのレベルの縄文科学習をしなければいけないのか、戸惑ってしまうところもあるかと思います。

教育長

縄文科の学習をなぜするのか、狙いを理解できている先生とできていない先生がいるか  
と思います。どちらかという、できていない先生はガイドブックのようなものを配って  
欲しいということを言っているように感じます。縄文に関するカリキュラムはない方がい  
いと思います。何故かという縄文科の狙いとしては考古学的知識を学ぶ学習ではないと  
しています。こども達が学ぼうとしたことについては、全部正解ですと言い切っています。  
なので縄文科を通して学ぶ力、将来生きていくことに必要な力を身につける、自分を振り  
返る機会になればいいと思っています。

吉田委員長

ガイドブック分科会に出席した際には、ガイドブックを作ってしまうと、方向性を1つ  
に決めてしまうことになるので、学校の先生の意見も尊重した方がいいだろうという意見  
もありました。考古学としての縄文だけをやってくことを望んでいませんが、中学生にな  
り縄文科を通して自分を振り返るとき、その振り返る道筋を実践活動の中でやっていかな  
ければいけません、その糸口をなかなか見つけることが難しいと思いました。それを先  
生方がどのようにやってくださるか、小学校で縄文科学習をしたこれから中学生となる生  
徒には大事なところだと思います。

教育長

縄文プロジェクトの方々が考えてくださっている、小学生から大人までを対象としたガ  
イドブックを作ってくださいるのであれば、それでよいかと思いますが、こども達が縄文科  
学習を行っているので、それに直接役立つようなガイドブックを作ろうというように聞こ  
えますが、私は特別そのようなことはしなくても良いかと思っています。

吉田委員長

縄文科学習のためのガイドブックづくりではなく、縄文検定あたりに対応するようなガ  
イドブックづくりを進めているところということを聞きました。それを中学で使えという  
訳ではないそうです。

こども部長

昨年度の湖東小学校の4年生たちの活動を見て、これが本当の縄文科だなということを  
感じました。自分たちから動いて、自発的に学ぶことに繋がっていてとても良いと感じま  
した。縄文について市長さんと話すということと、パンフレットのように形にも残りまし  
たので、非常に良い学習であり、本当の縄文科学習なんだということを感じました。

吉田委員長

このような意見の交換をしながら、特に中学の縄文科がどのような形で進んで行くかということを助言したり、見守っていけばよいかなと思います。

次にその他 8 「学童クラブの状況について」学校教育課長から説明をお願いします。

学校教育課長

〔概要〕

議会の方で質問がありました、学童クラブの状況について説明させていただきます。

各学童クラブの利用状況、4～6年生の利用人数について説明

資料説明（その他 8）

吉田委員長

今後はこのぐらいの人数で利用されるということですね。

小林（智）委員

人数に関しては、今学童クラブに入っている児童が 4，5，6 年生になるともう少し増えることになるかと思います。

こども部長

やはり 4～6 年生で 1 番利用しているのは 4 年生で、4 年生からいきなり、学童クラブに行けなくなり不安だという親御さんがいるからだと思います。5、6 年だと嫌だという児童もいます。地区こども館もあるので、高学年の児童については、そちらを利用する児童が多いかと思います。

学校教育課

6 年生まで受け入れができることになったので、兄弟の家庭などに対して利用料をどのようにしていくかが、問題になるかと思います。

吉田委員長

兄弟等の家庭に対して利用料の変更を今後検討していくということで、私達委員は承知しておくということですね。

次にその他 9 「台湾交流会について」学校教育課長から説明をお願いいたします。

学校教育課長

〔概要〕

5月22日に行われる台湾高雄市中学校交流演奏会のタイムスケジュールについて説明。  
資料説明（その他9）

吉田委員長

学校教育課だけでなく、教育委員会全体で協力して進行していただきたいと思います。

次回定例教育委員会ですが、5月26日木曜日午後1時30分から、事前を午後1時から開催したいと思います。よろしいですか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

ご異議ないようですので、そのようにいたします。

以上で4月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

平成28年5月26日

茅野市教育委員会                      委    員    長

同職務者代理

委                      員

委                      員

教    育    長

こ   ども   部   長